

史泉

第四十八号

日清貿易における長崎来航唐船について④……………松浦 章 (1)

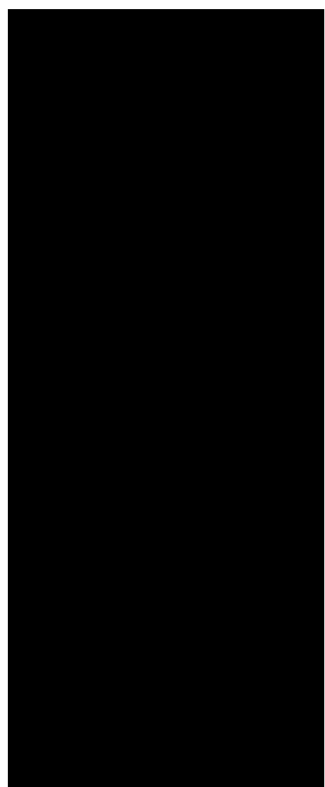
——清代烏船を中心に——

黎明期労働組合運動の特質……………松岡 文平 (15)

——『労働世界』と中国人雜居問題——

聖書和訳の先覚者 永田方正略伝……………木下 清 (33)

淀川沿岸近代水利史料〔大阪府下〕(右岸篇)③……………服部 敬 (43)



あとがき

◇末永雅雄名誉教授の朝日賞受賞 本年正月末永先生は、多年にわたる日本考古学界への貢献により、朝日賞を受賞された。まことに喜びにたえない次第である。その祝賀会が一月二十六日夜、大阪のロイヤル・ホテルで開催された。先生の学徳をたたえて、遠路をものともせず東西よりはせ集まるもの四百名を越え、まさに学界稀有の盛会となった。有光教一元京都大学教授の開会の挨拶にはじま

り、まず参会者を代表して奥田良三奈良県知事の祝辞があり、ついで小清水卓二奈良女子大学名誉教授による鏡抜き、福山敏男元京都大学教授の音頭による乾杯が行なわれ、八幡一郎日本考古学協会前会長、蔵田蔵奈良国立博物館長、明石三郎関西大学学長、および友人を代表して柴田実関西大学教授の祝辞があった。ついで末永先生から丁重な謝辞が述べられ、盛んな祝宴を張った。また、二月二日夜、関西大学で末永先生に学んだ者たちによる祝賀会が、大阪のコンコルドで開かれ

た。これまた盛大な催しで、風邪気味であられた先生も、すっかり風邪がとんでしまったといわれるほどであった。

◇宇田米夫教授 アメリカのボストン大学MITで行なわれる研究会に招かれて、四月一日羽田を発ち渡米。帰途アメリカおよびカナダ各地をまわって、主として産業構造の変化を視察し、四月二十五日ごろ帰国の予定。

◇有坂隆道教授 関西大学在外研究員として四月から半年間、日蘭交渉史の研究、およびヨーロッパ諸国における日本研究の現状調査のため渡欧。九月末、帰国の予定。

史 泉 第四十八号

五百円 (〒30円)

昭和四十九年三月三十日發行

大阪府吹田市千里山

編集兼 発行所 関西大学史学会

振替大阪二六〇一六番

代表者 宇 田 米 夫

印刷所 大 宝 印 刷 株 式 会 社

京都市南区東九条西岩本町八

原弘二郎先生
古稀記念 東西文化史論叢

昭和四十八年一月二十日刊
B 5 刊 五六〇頁 頒価六〇〇〇円

原 弘二郎先生略年譜

「スコッチ・アイリッシュ」……………原 弘二郎

—「肩」のあしあと—

原 先生のことども……………猪谷 文臣

*……………

早期アングロ・サクソン時代の王権と異教の伝統……………富沢 靈岸

「バーベンベルガー・フェーデ」に関する一考察……………早川 良弥

ミシェル・セルヴェ裁判について……………砂原 教男

君主交替の歴史の意味について……………植村 雅彦

—エリザベス一世からジェームス一世への場合—

メッテルニヒ政策の一考察—体制の調停者—……………広実源太郎

保守反動期におけるドイツ聯邦……………秋山 博愛

イワーノフ・ブズームニクの生涯と思想……………松原 広志

共産主義の戦争論……………川井 修治

*……………

地域の発展概念に関する一ノート……………青木 伸好

—P. Clavalの説を中心として—

「社会」の地理学的研究の系譜……………橋本 征治

—フランスの場合—

「シースターンの風車」探訪記……………末尾 至行

*……………

壁画古墳における四神図について……………網干 善教

—高松塚古墳の壁画に関連して—

高松塚の壁画とその年代……………有坂 隆道

飛鳥高松塚壁画の様式的考察……………横田 健一

—芸術精神史への一試論—

江州狛坂寺址大磨崖仏私見……………斉藤 孝

—我国奈良時代と統一新羅の石仏—

二年引き上げられた干支紀年法の源流……………友田吉之助

延喜式神名帳の一考察……………二宮 正彦

日本古代庶民の家族形態と農業経営規模……………福尾猛市郎

—主として奈良時代の経済単位について—

琉球の聖観念 セデとマブイ……………上井 久義

上河宗義とその「商人夜話草」……………柴田 實

—塔庵研究への序章—

吉野作造と在日朝鮮人学生……………松尾 尊允

一九三〇年代における大阪の騒音問題……………小山 仁示

—都市公害問題史研究の一視点—

田園都市の理念とニュータウン……………宇田 米夫

吹田市山手町三丁目三

関西大学文学部史学科内

原弘二郎先生古稀記念会

発行

史 泉

第四十六号 昭和四十八年三月

退職記念講義草稿

「スコッチ・アイリッシュ」……………原 弘二郎

——「屑」のあしあと——

公害の概念に関する歴史的考察……………小田 康徳

近代都市大阪の河川問題……………三溝 義一

——戦前・昭和期を中心に——

淀川沿岸近代水利史料〔大阪府下
右岸篇〕(一)……………服部 敬

史 泉

第四十七号 昭和四十八年九月

日清貿易における長崎来航唐船について(上)

——清代鳥船を中心に——

……………松浦 章

式百石旗本知行所覚書……………小西愛之助

——摂津国嶋上郡高浜村北組——

天竜寺塔頭・宝徳院について……………泉 澄一

——その建立と再興——

淀川沿岸近代水利史料〔大阪府下
右岸篇〕(二)……………服部 敬

書評 『居延木簡』……………大庭 脩

昭和四十七年度史学科卒業論文題目(一部・二部・大学院)